

漂着ごみの清掃

マリーナ港内に漂着したごみを回収し、海洋ごみの削減とマイクロプラスチック発生の抑制に取り組んでいます。



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

SDGsってなに？

人類がこの地球で暮らし続けていくために、2030年までに達成すべき目標です。

貧困、紛争、気候変動、感染症など、人類はさまざまな課題に直面しています。このままでは、安全で安定した暮らしを続けることができなくなると心配されています。そんな危機感から、世界中で話し合いが行われ、課題を整理し、解決方法を考えて2030年までに達成すべき具体的な目標を立てました。それが「持続可能な開発目標 (Sustainable Development Goals : SDGs)」です。

施設内照明LED化

外灯や室内照明を寿命が長く消費電力が少ないLED器具に変更しています。



メガソーラー

自社遊休地にメガソーラー発電所を設置し、再生可能エネルギーの有効利用を図っています。年間で約803軒分が賄えるほどの発電量が予測されます。

※一般家庭での計算



体験教室

漁業体験・釣り教室 セーリング体験など

子どもや若い世代に海の楽しさ、大切さを伝えるための機会を提供しています。



湘南サニーサイドマリーナの取り組み

漁業会社支援

地域の食と産業を担う漁業会社を支援し、持続可能な漁業の推進、安定した雇用と産業の発展をお手伝いしています。



自然農業支援

山を育て、固定種・在来種を用いた自然農業を行う農家さんを支援し、豊かな山と海を守る取り組みをしています。



働き方改革

ライフステージや労働者の状況に合わせた働き方を導入し、安定した就労機会、安心な労働環境作りの促進。また、外国人実習生の受け入れを行っています。



資源ごみの再利用

廃バッテリー、金属類などリサイクルできるものは専門業者へ。一般ごみの分別を行い、定期的にビーチクリーン活動にも参加しています。



防災ヘリポート

自社所有地内にヘリポートを整備し、災害時等の地域支援に活用します。



ドックバンパー使用促進

マイクロプラスチック発生の原因となるスチロロールフェンダーではなく、ドックバンパーの使用を促進しています。



人工木材のデッキ材

浮桟橋の建設・改修に際し、積極的に耐久性の高い「人工木材」をデッキ材として採用しています。



廃油・廃液の適正処理

船舶整備等で発生した海洋汚染の原因となる廃油・廃液は収集し、処理業者へ引き渡します。



土からできた天然塗料

施設内の一部の壁に粘土、陶土、石炭をブレンドしてできた天然素材の水性塗料を使用しています。



地産地消の促進

地元食材を使用する飲食店や物販店をホームページ等で紹介し、地域の発展と地産地消の促進に取り組んでいます。



無水トイレ導入

水を使わず細菌で処理を行う無水トイレを導入し、水利用の効率化に取り組んでいます。



EV給電スポット

環境負荷の少ないEV車(電気自動車)でご来場されたお客様のために給電スポットを設置しています。

